

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース／フィールド
保健体育	保健	1	2	必修	キャリアデザインコース
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。				
教科書	大修館書店 現代高等保健体育(保体 701)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)		

1. 学習の到達目標

- ・さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について例を挙げて説明することができる。
- ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
1. ライフステージと健康	11	4・5	・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。	・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
2. 思春期と健康			・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。	
3. 性意識と性行動の選択			・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。	・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	
4. 妊娠・出産と健康			・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。	・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。	
5. 避妊法と人工妊娠中絶			・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
6. 結婚生活と健康			・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
7. 中高年期と健康			・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
8. 働くことと健康	5	6・7	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。	労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
9. 労働災害と健康			・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。			
10.健康的な職業生活			・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。			
1. 大気汚染と健康	6	9 10	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。	・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、	・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連	環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとし

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
2. 水質汚濁, 土壌汚染と健康			・水質汚濁, 土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気, 水, 土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。	付けたりして, 自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について, 事例を通して整理し, 疾病等のリスクを軽減するために, 環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ・環境と健康について, 自他や社会の課題の解決方法と, それを選択した理由などを話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 筋道を立てて説明している。	ている。
3. 環境と健康にかかわる対策			・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。	・健康への影響や被害を防止するためには, 汚染物質の排出をできるだけ抑制したり, 排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており, 環境基準の設定, 排出物の規制, 監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。		
4. ごみの処理と上下水道の整備			・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	・上下水道の整備, ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は, 自然環境や学校・地域などの社会生活における環境, 及び人々の健康を守るために行われていることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。		
5. 食品の安全性	4	10 11	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	・人々の健康を支えるためには, 食品の安全性を確保することが重要であり, 食品の安全性が損なわれると, 健康に深刻な被害をもたらすことがあり, 食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。	・食品と健康について, 健康に関わる原則や概念を基に整理したり, 個人及び社会生活と関連付けたりして, 自他や社会の課題を発見している。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について, 習得した知識を自他の日常生活に適用して, 健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ・食品と健康について, 自他や社会の課題の解決方法と, それを選択した理由などを話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 筋道を立てて説明している。	食品と健康について, 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
6. 食品衛生にかかわる活動			・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	・食品の安全性を確保するために, 食品衛生法などの法律等が制定されており, 様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや, 食品の製造・加工・保存・流通など, 各段階での適切な管理が重要であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には, 適切に情報を公開, 活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら, それぞれの役割を果たすことが重要であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。		